



居心地の良い職場で 多様な経験を!

総務省情報流通行政局
情報通信政策課主査

谷田 栞 TANIDA Shiori

平成 27年 4月 総務省採用
同 総合通信基盤局電波部移動通信課
新世代移動通信システム推進室
平成 29年 7月 同 情報通信国際戦略局国際協力課
平成 29年 9月 同 国際戦略局国際協力課
平成 30年 4月 同 情報流通行政局放送技術課国際係長
令和 元年 7月 現職

たった5年

入省してからたった5年。研究開発途中であった5Gが実用化され始めたり、スマートフォンで「ピツ」とするだけで決済ができるようになったり、ICTが世の中を大きく変えました。この間に、私自身は4部署で様々な業務を経験しました。5G研究開発の企画立案やその推進に携わり最新技術に触れ、電子タグに係る制度整備に携わりルールを変える難しさを学び、日本のICTや地デジ技術の知見を広めるためASEANや中南米の政府を訪ね…ここには書き切れないほどの経験をしてきました。多様な分野の知識が身につくだけでなく、省内外との調整能力、説明能力についても鍛えられたと思います。総務省の職員として、様々な形で世の中の変化に関わりながら、自身の成長も感じる事ができ、とても充実した5年間でした。

今やっていること

主な業務としては、乱立するモバイル決済サービスを統一するQRである「JPQR」の普及のため、全国各地での説明会への参加、決済サービス事業者や自治体等の関係者との検討を進めています。キャッシュレス化の推進には多くの関心が寄せられていることから、取り巻く状況はめまぐるしく変化します。これまでの業務の中でも、よりすばやく柔軟な対応が求められることが多かったり、予期せぬ問題の発生に振り回されたりとせわしなく働いていることも多いです。そんな職場ですが、大きな施策に携わっているというやりがいを実感できること、頼れる上司・部下がいることなどから、大変さを感じることなく、日々楽しみながら業務に取り組んでいます。

このパンフレットを手にとった皆さんへ

私自身は大学時代に土木工学を専攻しており、社会のインフラ基盤作りに携わりたいという思いがありました。就活生になった頃、「今後最も重要な社会のインフラ基盤は何か?」と考え、情報通信という分野に関心を持ち総務省を訪ねました。そこ

で、国家公務員の仕事を知り、情報通信分野の幅広さを知り、思い描いていた堅苦しい国家公務員のイメージはなくなり、「ここならきっと後悔しない」と確信できました。専門が異なっても、国家公務員の仕事や情報通信という分野への興味など、何か少しでも総務省に関して興味を持っていただければ、まずは一度訪問してみてください。同じ思いを抱くことを期待しています。



仕事帰りに同期と



在ジュネーブ国際機関
日本政府代表部一等書記官

上野 喬大 UENO Takahiro

平成 19年 4月 総務省採用
同 情報通信政策局技術政策課研究推進室
平成 20年 7月 同 情報通信国際戦略局技術政策課研究推進室
平成 21年 7月 同 総合通信基盤局電波部基幹通信課国際係長
平成 23年 7月 国土交通省道路局道路交通管理課高度道路交通システム推進室
情報システム係長
平成 25年 7月 総務省総合通信基盤局電波部移動通信課新世代移動通信システム推進室課長補佐
平成 27年 8月 派遣 総合警備保障株式会社
平成 29年 7月 総務省情報流通行政局情報流通振興課課長補佐
平成 30年 8月 同 国際戦略局国際経済課多国間経済室課長補佐
令和 元年 6月 現職

国際舞台に飛びだそう!

入省以降、総務省内での勤務に加え、民間企業や他省への出向などICTを軸に幅広い経験を積みました。その中で、海外勤務は、国際感覚を身につけたいという思いからずっと希望をしてきたことです。

現在私は、外務省に出向し在ジュネーブ国際機関日本政府代表部に勤務しています。ジュネーブには、国際連合欧州本部をはじめWHOやILOなどの国際機関が数多く所在し、代表部はこれらの国際機関に対して日本政府の立場を代表する役割を担っています。その中で、私は総務省アタッシュとして、電気通信技術の標準化や周波数分配などを担う国際電気通信連合(ITU)を担当しています。ざっくり言えば、他国の外交官やITUの職員との意見交換を通じてITUに関する様々な動きの情報を収集し、本国と連携してITUの

活動に日本の意向を反映することが役割になります。現在、各国の外交官を集めた会議で共同議長を務めておりますが、意見交換の中で各国の関心事や立場など現場でしか得られない情報に接した際には、自分がICT国際標準化外交の最前線にいることを実感します。

技術進化が早いICT分野は、国際舞台においても次々と政策課題が生まれてきます。それに対応できる総務省アタッシュの期待は今後ますます高まるものと思います。海外で活躍したい、新しいことに挑戦したいという前向きな気持ちを持ったみなさん、ぜひ、総務省と一緒に働きましょう!



企画・実施したジャバントリップにて(著者左端)

カリフォルニア大学ロサンゼルス校

中川 将史 NAKAGAWA Masashi

平成 23年 4月 総務省採用
同 総合通信基盤局電波部移動通信課
平成 25年 7月 同 情報通信国際戦略局国際協力課主査
平成 27年 8月 同 総合通信基盤局総務課総括係長
平成 28年 7月 同 情報流通行政局情報流通振興課情報セキュリティ対策室調整係長
平成 29年 7月 同 情報流通行政局サイバーセキュリティ課調整係長
平成 29年 7月 同 総合通信基盤局電気通信事業部データ通信課課長補佐
平成 30年 7月 カリフォルニア大学ロサンゼルス校

世界各国の多様な人材に囲まれて ～日本を、世界を、そして自分を考える～

カリフォルニア大学ロサンゼルス校の公共政策大学院で、国籍、年齢、経歴、関心分野等が異なる多様なクラスメイトに囲まれながら、公的課題を解決する政策立案の手法を学んでいます。過去、海外の行政官と対等に渡り合えなかったという自身への危機感がきっかけとなり留学を志しました。日本の作法が通じなかったり、時にクラスメイトとの議論で打ちのめされたり、他国からの留学生の存在感に刺激を受けたり、日本文化への強い関心を再認識したり、米国で活躍している多分野の日本人に会ったりと留学中の経験一つ一つがどれも新鮮で、自身の視野を大きく広げてくれています。

総務省所管の情報通信分野は変化が非常に早く、数年もすればトレンドが変わってまいります。新しい政策課題や技

術・サービスが次々に現れ、国として関与すべき業界の領域やその度合いも流動的です。つまり、社会のニーズ変化を敏感に察知し、それに適応していく柔軟性が求められます(一方で近視眼的にはならず)。そして、各世代で流行りのアプリ・サービスが異なるように、デジタルネイティブの皆さんが当然のようにユーザ体験してきたものが、実は私を含め今総務省にいる職員には未知のものであったりすることから、情報通信政策の立案では若い感性も頼りにしています。私個人に関して言うと、これまでの多様な業務を通じて自分でも気づいていなかった潜在的な強みを総務省は見出してくれました。

総務省に少しでも関心を持たれた方へ。今、あなたの力が必要です。